



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月9日

上場会社名 株式会社メディアドゥ
 コード番号 3678 URL <http://mediado.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(氏名) 藤田 恭嗣
 (氏名) 大和田 和恵

TEL 052-222-3335

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	3,986	—	188	—	163	—	101	—
25年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	53.60	47.88
25年2月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成25年2月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年2月期第3四半期の記載及び平成26年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
 2. 当社は平成25年9月14日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。1株当たりの四半期純利益につきましては、当該分割が当会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。
 3. 当社は平成25年11月20日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しているため、平成26年2月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は新規上場日から平成26年2月期第3四半期会計期間末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	2,643	1,362	51.6
25年2月期	1,491	329	22.1

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 1,362百万円 25年2月期 329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	—	0.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,480	34.1	250	557.7	215	581.0	171	—	86.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期3Q	2,230,000 株	25年2月期	1,834,600 株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	— 株	25年2月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期3Q	1,902,469 株	25年2月期3Q	— 株

(注) 1. 当社は、平成25年2月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年2月期 第3四半期における期中平均株式数(四半期累計)を記載しておりません。

2. 当社は、平成25年9月14日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期中平均株式数につきましては、当該分割が前会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

(注) 1. 本資料に記載されている業績等の見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当社は、平成25年9月14日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、経済政策や金融政策への期待感から円安、株高が進行し、景況は緩やかに回復しつつあります。

そのような環境下で、スマートフォンの出荷台数は、キャリアによる販売戦略により特定の端末に販売が集中し、全体ボリュームが伸び悩んでおり2013年度通期の出荷台数は2,990万台（前年度比0.6%増）と予測されています。一方で、タブレット端末は多数のモバイルタブレット（画面サイズ8インチ未満）が市場を拡大させたことから2013年度通期の出荷台数は760万台（前年度比33.8%増）となると予測されています。（出典：株式会社MM総研）

電子書籍市場においては、スマートフォンやタブレットユーザーの増加や海外事業者参入による一般消費者への電子書籍の認知度の促進、コミックを中心としたタイトル拡充などにより市場規模が拡大し、2013年度の市場規模は930億円となり、2013年以降もこの傾向のまま拡大し2017年度には2,390億円まで拡大すると予測されています。

（出典：インプレスビジネスメディア「電子書籍ビジネス調査報告書2013」）

このような外部環境の中、当社は主力事業である電子書籍事業において、既存サービスの拡充や新規アライアンス先との共同事業によるスマートフォン向け新規サービスの立ち上げによって、業務の拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は、3,986,987千円、経常利益は163,537千円、四半期純利益は101,970千円となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(電子書籍事業)

電子書籍事業につきましては、「LINEマンガ」等の大型電子書店への電子書籍取次が引き続き堅調に推移し、売上高の伸長に寄与いたしました。自社運営電子書籍ストアもプロモーションの効果的な投下により、売上高は増加いたしました。また、新規で平成25年11月に株式会社リクルートライフスタイルと電子書店「ポンパレブックストア」の共同運営を開始いたしました。

その結果、売上高は3,290,893千円、セグメント利益は154,071千円となりました。

(音楽・映像事業)

音楽・映像事業につきましては、スマートフォン向け音楽配信サイトは順調に会員を増やしましたが、フィーチャーフォン向け各サービスの利用会員は大幅に減少しております。

その結果、売上高は424,640千円、セグメント利益は43,227千円となりました。

(ゲーム事業)

ゲーム事業につきましては、ソーシャルゲーム市場競争激化により、売上高は減少傾向となりました。

その結果、売上高は171,122千円、セグメント損失は△4,155千円となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、ニュース・情報系携帯電話サイト運営代行及びサイト内広告枠の専属取扱を引き続き行ってまいりました。

その結果、売上高は100,330千円、セグメント損失は△4,700千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ1,152,104千円増加し、2,643,439千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ現金及び預金が1,042,627千円、売掛金が125,505千円増加したことにより2,308,585千円となりました。

固定資産は、前事業年度末に比べ有形固定資産が17,763千円、投資その他の資産が16,169千円増加した一方で無形固定資産が34,712千円減少したことにより334,854千円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ118,363千円増加し、1,280,486千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ短期借入金が210,000千円減少した一方で買掛金が267,909千円、未払金が61,092千円増加したことにより1,267,308千円となりました。

固定負債は、前事業年度末に比べ49,231千円減少し、13,177千円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ1,033,740千円増加し、1,362,953千円となりました。

これは主として、新規上場による公募増資による新株発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ409,860千円増加したこと、四半期純利益101,970千円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年11月20日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

今後、業績予想数値に影響を与える事態が生じた場合は、速やかに開示を行います。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	159,870	1,202,498
売掛金	948,916	1,074,421
商品	239	12
貯蔵品	76	253
前払費用	41,302	22,697
繰延税金資産	16,086	23,163
その他	9,330	4,726
貸倒引当金	△20,120	△19,187
流動資産合計	1,155,701	2,308,585
固定資産		
有形固定資産		
建物	28,362	28,362
減価償却累計額	△17,605	△19,348
建物（純額）	10,757	9,014
工具、器具及び備品	243,895	271,534
減価償却累計額	△227,693	△235,827
工具、器具及び備品（純額）	16,202	35,707
有形固定資産合計	26,959	44,722
無形固定資産		
ソフトウェア	157,247	128,916
コンテンツ	63,148	59,191
その他	2,776	351
無形固定資産合計	223,172	188,459
投資その他の資産		
投資有価証券	—	10,500
出資金	0	0
長期前払費用	3,905	3,292
繰延税金資産	37,888	43,339
差入保証金	43,708	44,538
投資その他の資産合計	85,502	101,671
固定資産合計	335,633	334,854
資産合計	1,491,335	2,643,439

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	613,045	880,955
短期借入金	210,000	—
1年内返済予定の長期借入金	84,696	71,872
未払金	107,683	168,776
未払法人税等	17,991	69,006
未払消費税等	25,826	17,326
預り金	5,176	14,009
ポイント引当金	34,822	45,081
その他	472	281
流動負債合計	1,099,713	1,267,308
固定負債		
長期借入金	58,098	8,820
資産除去債務	4,310	4,357
固定負債合計	62,408	13,177
負債合計	1,162,122	1,280,486
純資産の部		
株主資本		
資本金	310,538	776,423
資本剰余金	14,185	480,070
利益剰余金	4,488	106,459
株主資本合計	329,212	1,362,953
純資産合計	329,212	1,362,953
負債純資産合計	1,491,335	2,643,439

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	3,986,987
売上原価	3,226,917
売上総利益	760,070
販売費及び一般管理費	571,628
営業利益	188,441
営業外収益	
受取利息	29
その他	25
営業外収益合計	55
営業外費用	
支払利息	2,279
株式公開費用	22,647
その他	31
営業外費用合計	24,959
経常利益	163,537
特別損失	
固定資産除却損	22
特別損失合計	22
税引前四半期純利益	163,515
法人税、住民税及び事業税	74,073
法人税等調整額	△12,529
法人税等合計	61,544
四半期純利益	101,970

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年11月20日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場し、公募増資による払込を受け、新株式270,000株の発行を行いました。

その結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ409,860千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が776,423千円、資本剰余金が480,070千円となっております。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

当第3四半期累計期間（自平成25年3月1日至平成25年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	電子書籍 事業	音楽・映像 事業	ゲーム事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,290,893	424,640	171,122	100,330	3,986,987	—	3,986,987
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,290,893	424,640	171,122	100,330	3,986,987	—	3,986,987
セグメント利益又は損失 (△)	154,071	43,227	△4,155	△4,700	188,441	—	188,441

(注) セグメント利益又は損失(△)は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。